

暑中お見舞い申し上げます。1学期の間、児童生徒、教職員の皆さんが大きな事故等がなく、明日の終業式を迎えられることをありがたく思います。児童生徒一人一人が発達段階に応じて1学期の成果と課題を自覚し、夏休みに目標をもって学習に取り組む意欲が高まるようにご指導をお願いします。

7月14日まで学校訪問をさせていただきました。先生方の授業への真摯な取組はもちろんのこと、日頃の学級経営、きめ細かな指導、子供たちと先生・子供同士の良好な信頼関係が多く見られました。

小・中学校訪問より

指導訪問 熱塩小 6月27日(火)

「自ら考え、表現できる子どもの育成～思考力・判断力・表現力等を育む指導の工夫～」を現職教育の研究課題として研究・実践されています。低学年では、前時までの学習を振り返って確かめられる学習環境ができていました。また、ペアで説明し合うことや動作化で考えを伝え合う工夫が見られました。教師のきめ細かな配慮が随所に見られ、子供たちは安心して学習に取り組むことができました。学級活動では、司会者が臨機応変に話し合いを進めたり、道徳では、児童が主体となって話し合い、考え合う時間が確保されたりするなど言語活動の充実を図る取組が見られ、本研究課題3年目の成果が見られました。



指導訪問 第三小 6月29日(木)



「自分の考えをもち、伝え合い学ぶ児童の育成～算数的活動の工夫を通して～」を現職教育テーマに研究・実践に取り組んでいます。それぞれの授業で、算数科での成果が活かされ、児童一人一人が考えをもち、考えをまとめるためのワークシート等を活用した書く時間や話し合いの時間の確保を意識した授業の実践が見られました。教師の言葉遣い、表情、子供たちの考えの尊重、児童の作品への愛情あるコメントなどが随所に見られ、教師が児童の模範となっていることのすばらしさ、大切さを改めて感じました。

指導訪問 山都小 6月30日(金)

現職教育テーマを「主体的に学ぶ児童の育成～自分の考えを伝え合って学ぶ算数科の授業を通して～」として、研究・実践されています。高学年の国語科では、自分の考えをしっかりと書くことができおり、読み取りの学習形態が全体、グループ、個人と変えることで、学び合いや自力解決の場が確保されました。低学年では、話の聞き方や音読の仕方、ノートのまとめ方などの基本的な指導が行き届いていました。中学年の理科では、思考力・表現力を育てたいというねらいに対して手立てを明確にした話し合い活動が見られました。低学年の音楽科では、歌で始まり、歌で終わる楽しい雰囲気の中、曲の変調に気付かせる工夫により子供たちが意欲的に演奏に取り組みました。



指導訪問の3校とも、可能な範囲で同じ分科会の先生の授業を参観し合い、研究協議でも意見交換する機会をもつことができました。日頃、学級を離れて、授業を参観し合うことはなかなか難しいと思いますが、学校訪問や校内授業研究会をよい機会として、互いのよさに気づき合い、「主体的・対話的で深い研究協議」にさせていただけるとありがたく存じます。

授業改善訪問 加納小 6月30日(金)

山都小学校の指導訪問と同日となり、市教委の指導主事は参観できませんでしたが、4学年の算数科「四角形をしらべよう」の授業を会津教育事務所・新井田指導主事に参観していただきました。

きれいな平行四辺形のしきつめの模様を見せて子供の興味関心を高め、「どうしたら平行四辺形がかけののかな」という「問い」をもとに学習を進めました。子供たちはコンパスや三角定規、分度器等を使ってこれまでの学習を生かしながら平行四辺形の作図のしかたを粘り強く考えました。本時は平行四辺形の作図だけでなく、作図の方法を説明することも重視し、グループになってよりよい説明をみんなで作成することができました。



要請訪問 第一小 7月3日(月)



1学年の道徳の授業を中村が参観しました。「勇気をだして」を主題に、「正しいこと思ったことは、恐れなくて、勇気をもって行おうとする態度を育てることをねらいとした授業でした。入学して3か月しか経っていませんが、「聞く」姿勢がきちんとできていて、先生の問いかけに素早く反応し、本気で考える姿が随所に見られました。特に、役割演技などもスムーズに取り入れているところが印象的でした。また、子供たちが集中し考えたいくなるような先生の話し方、適切な指示、そして場

面状況が分かりやすい黒板の掲示物等々、学ぶべき要素にあふれた授業でした。さらに、来年度の「特別の教科 道徳」の実施にあたり、全職員で研修を重ねている姿にも敬意を表します。

授業改善訪問 熊倉小 7月7日(金)

3学年の算数科の授業を金成が参観しました。今年度の研究主題は、「ひとつ上をめざす子どもの育成～『活用力』を育むための児童の実態に合わせた算数科指導の工夫～」です。学習する雰囲気がよく、子供たちが「学習に取り組むぞ」という意欲の喚起が見られました。また、適用問題に取り組む時間を確保し、子供たちはたくさんの練習問題に取り組むことができました。教科書に載っている数字の活用の仕方の工夫や、相互評価により互いのよさに気付かせるとさらにすばらしいということをお話しました。



授業改善訪問 姥堂小 7月11日(火)



2学年算数科「水のかさのたんい」の授業を中村が参観しました。研究主題は「『進んで学び考える子ども』を育む授業づくり～少人数指導における学びの深まりを目指して」です。学習指導案からは、きめ細かな実態把握により、少人数学級のよさが存分に発揮されることが予想されました。授業では、6人とは思えないほどの活気と一人一人の意欲に圧倒されました。

1学年からの基本的な生活指導や学習指導のすべてが既習の経験として十分に生かされていることを実感しました。また、先生方の学ぶ姿勢や学校全体の温かい雰囲気もすばらしく、先生方の人的環境が、心豊かな子どもを育てることを改めて感じました。

授業改善訪問 高郷中 7月14日(金)

2学年理科の授業を五十嵐が参観しました。高郷小中連携授業研究会として、高郷小学校の先生方9名が参観し、研究協議会に参加されました。「だ液はデンプン以外の物質でも分解するのか」「だ液はヒトの体温以外の温度でも消化にはたらくのか」などグループごとに立てた食べ物の消化についての課題を「対照実験」によって確かめる授業を参観しました。



事前に、一人一人が「サイエンス・レポート」に予想やその根拠、実験方法や計画を書き、目的意識を持って実験に取り組んでいる生徒が多く見られました。実験の考察についての話し合い、まとめの時間が十分にとれなかったのは残念でした。事後研究会では、本市の最重要課題の一つとしているまとめの内容吟味と時間確保を念頭に置いた授業構成について話をしました。